問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部 監理課長 寺井 博 電話 052 (661) 1611 内線 2510 平成25年12月4日



沿岸域環境保全情報サービス(シーズネット)の機能拡充

海上保安庁では、大規模な油流出事故に備えて、日本全国の沿岸域の自然情報、防災情報、海岸線の環境脆弱性指標(漂着油に対して海岸線がどれだけ影響を受けるかを数値で指標化したもの(ESI))の情報などを「沿岸海域環境保全情報」として、関係省庁・地方自治体等多方面から関連情報を収集・整備しており、これらをインターネットで閲覧できるサービス(シーズネット)を提供しています。

シーズネットとは

沿岸海域においてタンカー事故等の油の流出を伴う事故が発生した場合、海岸に油が漂着すると環境に深刻な影響を及ぼすことから、国や地方公共団体、漁業関係者等は連携し、迅速・的確に油の除去等の措置を行う必要があります。

海上保安庁では、砂浜、礫浜等の海岸の性状や植生の有無等に応じて全国の海岸を色と数字で10段階にランク付けし、漂着油から優先的に保護すべき海岸を判断するための情報(ESI情報)を提供しており、それに加えてオイル貯蔵施設、火力発電所などの陸上施設、流出油除去機材の保管場所などの情報を加え、「シーズネット」で提供してきました。

「シーズネット(CeisNet)」の「Ceis」は Coastal Environmental Information Service (沿岸域環境保全情報サービス)の頭文字です。

新たな機能の追加

油流出事故等が発生した場合、発生場所や防除活動エリア等の位置を、海上保安庁では 経緯度で表し、地方公共団体や警察・消防等では住所で表すなど、両者の間で情報共有が スムーズに行われない場合がありました。

この度、「シーズネット」にUTMグリッド表示機能を追加し、9桁の文字列で場所を特定できるようにしました。これにより関係機関間での情報の共有が容易になり、油防除活動等への対応がより迅速になることが期待されます(別添資料参照)。

なお、国際的にも一般的に用いられている表示手法であるUTMグリッドは、我が国でも広がりつつあることから、今回、「シーズネット」にもUTMグリッド表示機能を追加したことで、我が国の海域(陸部を含む)のどこでもUTMグリッドを表示することができるようになります。

CeisNet URL: http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNetWebGIS/ 』

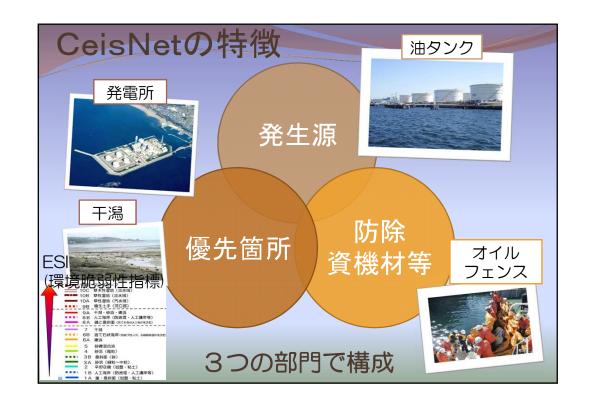
海上保安庁が提供するシーズネットについて

第四管区海上保安本部海洋情報部

四管区内における油の流出

四管管内には名古屋港や四日市港など石油コンビナートを抱える港湾があり、これら施設が被災するなどして、 重油が流出してしまうと、多大な損害を被ることになります。

















UTMグリッドについて

UTMグリッドは、UTM(Universal Transverse Mercator:ユニバーサル横メルカトル)座標に基づいて、 地上の任意の場所を特定する手法の一つです。

今回「CeisNet」に追加したUTMグリッド表示機能では、地図上に直交するグリッド(格子線)を引き、それぞれのグリッドを、国際的にも一般的に用いられている MGRS*のルールに沿ったコード(英数文字列)によって、1km単位のグリッドまで表示されます。



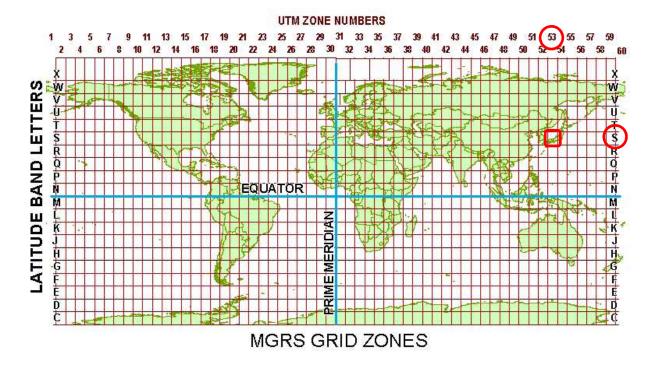
[※] MGRS(Military Grid Reference System)は米軍のグリッドシステムであり、北緯84度から南緯80度までは UTM座標系、極付近ではUPS(Universal Polar Stereographic:ユニバーサル極平射)座標系をベースに定められ、各格子線で区切られた区画(ゾーン)は、英数字の文字列で表示されます。

UTMグリッド番号について

シーズネットに掲載している UTMグリッド番号 (例:53SPU7181)

シーズネットに掲載しているグリッド番号は、MGRSに準拠したものを使用している。

MGRSでは、まず下図に示すように世界を区分けし、それぞれのマス目を座標により特定できるようにしている。市販の地図帳に掲載されている地名索引と同様。

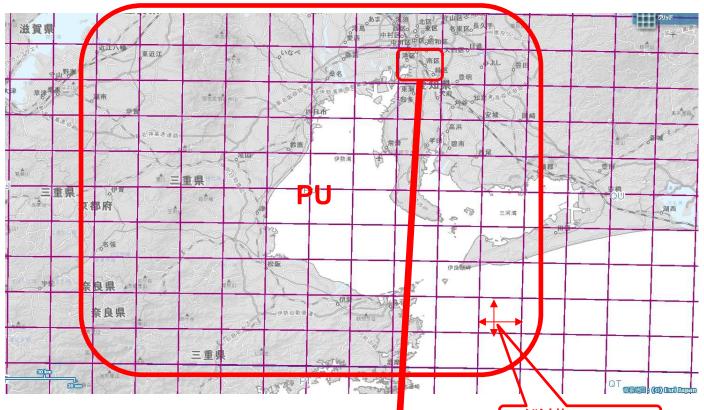


中部地方はSと53の交わったマス目にあたっており、このマス目の位置は「53S」となる。

この53Sのマス内は、さらに細かく分割されており、四管区の管内は黒線で囲まれたエリアの中に入っている。その中で名古屋港はPUのマス目内となる。このマス目は「53SPU」となる。

	لسعر									L	UL	54	I-T
			-				II divine	200		TK	UK	YVK	WK
	EK	FK	GK	KE	LE	ME	NE_	PE	QE			秋田 5	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	EJ	FJ	GJ	KD	LD	MD	ND	PD	QD	TJ	UJ.	VJ	WU s
	EH	FH	GH	KG	LO	МО	NO	PO	QC	TH	UH	VH 。	₩-ŴH
	EG	FG	GG	KB	LB	MB	NB	PB.	■ QB	TG	ŲG	VG"	WG ∖わき
	EF	FF	GF	KA	LA •	MA	NA	PAR	ф QA	_E 野 cTF		,字都·VF	WF
	52S EE	FE	GE	KV		53 MV	SS	PV	QV	STE.	相相世民家	\$ 54 Bo [∓] VE	WE WE
-0	ED	FD	GD	KU	LU 意動	岡山MUo 姫器	神見以此意意	PU	A C U E	TD	UD	VD	WD
	EO ₃	FC	-	KT .	山山山	MT	Z	PT	QT	ТС	UG.	VC	WC
No.	EB	FB _m *	GB	KS	LS	MS	NS	PS	QS	ТВ	UB °	VВ	WB
	EA 🖇	FA	GÁ	KR	LR	MR	NR	PR	QR	TA	UA	VA	WA
	tr f	800 km	0							54R			

53PSUを赤枠で示す。これを10km間隔で分割。



更に1km間隔で分割されており、各マス目には座標が割り振られている※。

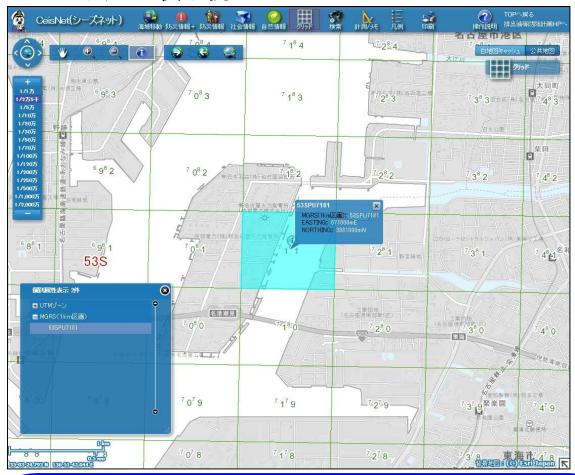
亨·· 市· 芝地 下鉄· 名城縣 7 5 8 7 □ 字號 7 6 8 7 ⁷ 1⁸ 7 * 08 6 7 9⁸ 6 DATE 7385 名古屋485南区 53S C L7 18.4 E 7 3 8 4 7 98 4 名古[7983 083 7 1^{8} 37⁸ 3 日_{南海} 7 8⁸ 3 **日**東田 「74⁸2 782 7882 2481 ⁷ 8⁸ 1 大高 7 7⁸ 0 1 1 1 7 7 8 8 0 名古屋MJOT IC 7 48 0 7 68 0 7 9⁸ 0

縦横10km

縦横1km

53SPU7181

シーズネットの表示例



O UTMグリッド番号 (53SPU7181)

各グリッド番号はMGRSに準拠した以下のルールで付与されます。

53: UTMゾーン(西経180°から東回りに経度6°毎に1~60で表す。) 例えば、東経132-138°は「53」、138-144°は「54」となる。

S: UTMゾーン識別ID(南緯80°から北へ緯度8°毎にC~Xの1文字で表す。ただし、「I」と「O」は「1」と「O」と紛らわしいので用いない。) 例えば、北緯24-32°は「R」、32-40°は「S」、40-48°は「T」となる。

PU: 100km区画ID(経度6°×緯度8°の各グリッド内を、更に100km四方の区画に分割し、各々の区画を MGRS に準拠したルールに沿って、アルファヘ・ット2文字で表す。

7181:東方向座標・北方向座標 (100km区画内を、更に1km四方の区画 (1万個)に分割し、各区画を (100km区画の左下角を起点に)0000~9999で表す。